

第64回全国社会教育研究大会広島大会開催！好事例を各市町村の活動のヒントに！

『多様性を生み出し“百万一心”の心根で未来をつくる社会教育!!』をスローガンに、令和4年10月26日～28日(26日は理事会等)に、広島市で第64回全国社会教育研究大会 広島大会 兼 令和4年度中国四国地区社会教育研究大会が開催されました。管内からは津山市、真庭市、勝央町の社会教育委員が参加され、「地域学校協働活動」「家庭教育」「これからの社会教育の在り方」「社会教育施設」などそれぞれの分科会に分かれて、学びを深めました。今号は、大会を通じて参加者が感じたことや、各市町村の活動へつなげるためのポイントについてご紹介します。

個の学びを会議で共有！

大会参加した管内の市町は、後日に学びを共有する場を計画されています。学びをアクションにかえる第一歩です。これは、この大会に限らず大切な視点です。

長期的な視点で！

改選したら活動が振り出しに戻らない長期的な視点で進めていくことのできる取組を考えていくことが大切です。

社会教育委員の活動に活かすポイント！



社会教育委員の活動の幅は広い！

分科会のテーマのように、取り組めるテーマは多種多様。わが町の課題や強みを活かしたテーマ設定を行い、活動前に進めましょう！

社会教育委員の役割を活かす工夫を！

現状を振り返り、活動内容や会議の回数など、次年度に向けての具体的な話し合いを今年度中に早めに行うことが大切です。

第64回全国社会教育研究大会広島大会

- 1 開会行事** 広島サッカーの軌跡 ～百万一心の精神でつくる広島の未来～
- 2 記念講演** 株式会社サンプレッチェ広島 代表取締役社長 仙田 信吾 氏

3 シンポジウム

これからの時代を見据えた学びのデザイン

～ニューノーマル時代における社会教育の在り方～

- ・志々田 まなみ 氏 文部科学省国立教育政策研究所 総括研究官
- ・小田 圭介 氏 静岡県裾野市東地区おやじの会何もしない会 実行委員長
- ・平尾 順平 氏 特定非営利法人ひろしまシン大学 代表理事
- ・山崎 瑞穂 氏 島根県社会教育委員 親学ファシリテーター
- ・藤田 昌也 氏 山口県教育庁地域連携教育推進課 社会教育主事

10/27

○第1分科会「地域学校協働活動による地域力の向上」

高知市立春野中学校 校長 小川 真悟 氏
つがる市教育委員会 社会教育委員長 葛西 貢造 氏

○第2分科会「家庭教育支援・子育て支援の充実」

霧島市社会教育委員の会議 議長 新田 瑠璃子 氏
浦添市母子生活支援施設浦和寮 施設長 桃原 弘子 氏

○第3分科会「人生100年時代を見据えた社会教育の在り方」

ふるさと黒部つむぐプロジェクト実行委員会 委員長 松野 健作 氏
東広島市教育委員会生涯学習課 課長補佐兼社会教育主事 福永 崇志 氏

○第4分科会「社会構造の変化に伴う社会教育施設の役割」

吉賀町教育委員会 地域・人づくりコーディネーター 檜谷 邦茂 氏
岡山市教育委員会生涯学習課 公民館振興室 主査 友延 栄一 氏

10/28



津事管内の参加者が感じたこと



津山市社会教育委員
長江 真理子 氏

よりよい社会を創る当事者として、楽しくいきいきと行動し、自己実現されている方々の講演や発表でした。それぞれの活動は多様かつ地域の特性に合ったものでした。「一緒に遊ぶ、一緒に学ぶ、一緒に育つ」が**つながりづくり**や、自ら楽しむ体験することの大切さを再認識することができ、学び直しの場になりました。



勝央町社会教育委員
谷口 浩子 氏

社会教育委員としてこれから必要な事は、長期的に何かを提案していき熱量や、花を咲かせるのではなく土壌を作っていき根気だと感じました。社会教育とは、生活する上で必要不可欠な社会基盤でありインフラだというシンポジウムの中での言葉には感銘を受けました。希望を捨てず根気よく社会教育を実践していく決意を固めるにふさわしい大会でした。



真庭市社会教育委員
福山 真知子 氏

第2分科会では鹿児島県と沖縄県の発表がありました。どちらの県も、教育と福祉が融合され一体となった活動でした。教育と福祉の枠を乗り越えて繋がりがりながら、「地域の子どもは地域の大人が育てる！」という心意気を持ち、正に“百万一心”の心根で、親子の育ちを支えることができる家庭教育支援でありたいものだと感じました。